

姥ヶ山自治会報

第 86 号

発行 者
姥ヶ山自治会
阿部博一印刷
新潟マイクロコンピュータ

令和三年九月三十日現在

姥ヶ山自治会動向

世帯数 一、四二〇戸
班数 一二〇班

姥ヶ山自治会活動について

姥ヶ山自治会長 阿部博一

コロナ感染もこの頃は落ち着いてきていることから、少しずつ自治会の活動も感染予防に留意しながら元に戻りつつあります。これからは感染状況を見極めながら、慎重に自治会活動を行ってきたいと考えています。

さて、姥ヶ山自治会の世帯数は届出出世帯数を一四二〇世帯としています。この数は、中央区また新潟市のなかでも有数の大きさと、その自治会活動が注目されています。

ところで、この姥ヶ山地域に人が住み始めたのは一丁目と四丁目の会館の前の曾野木一日市線の道路沿いに西暦一六〇〇年代頃、開発砂丘に開墾のため住み始めたと言われています。その頃は向い山・離れ山・新田山・うつ木山・田中山・石仏山・本村山・山の浦などの開発砂丘をひくくする姥ヶ山と言いました。因みに姥ヶ山という地名は、石仏山地蔵堂のご本尊の石仏による伝説に由来していることから、石仏山地蔵堂の地が「姥ヶ山地命発祥の地」と言われています。

現在のような自治会の形になったのは昭和四〇年頃から、五〇年頃にかけて住宅開発が進み、三丁目、五丁目、六丁目が新たに加わった事で現在に至っています。

約 20 年程前に、あまりに大きな自治会の弊害の解決策として、一丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目のブロック

ク制とし、ブロック内の意思疎通がスムーズに図られるように、また各ブロックがいつでも独立できるようにとブロック体制を重視した大きな組織改正が行われました。結果として、現在の大きな姥ヶ山自治会が組織として機能している事につながっているのではないかと考えています。各ブロックでは班長会議を中心としたブロック会議で身近な課題を話し合い、執行役員会議では、地域の状況や各ブロックの問題等を話し合うことで情報、課題の共有化を図っています。

また、地域の一体感を図り、安心安全で住みやすく、住民同士のコミュニケーションがはかれるように、自治会全体の主な行事として「クリーン作戦」「町内運動会」「防災訓練」等を行い、更に自治会役員と地域の人達が一緒にプロジェクト行事として「姥ヶ山祭り」「さいの神」などの行事を行っています。新潟市でも有数の大きい自治会も一つになれば大きな力になります。

それと、自治会では、毎年、区長宛に「環境整備に関する陳情書」を提出しています。

これは、道路の補修やカーブミラーの設置等の環境改善の要望を陳情するもので、毎年夏に各ブロックからの要望を取りまとめ中央区建設課に提出します。今年度は、継続案件も含めて八件お願いして、内一件は完了し、三件は来年度実施、四件は継続して検討するとの回答を頂きました。

これからも、姥ヶ山自治会の活動・取り組みに、ご理解とご協力をお願い致します。

姥ヶ山諏訪社 夏・冬

総務部長 内山毅重

過日、諏訪社氏子会の青木正会長に取材をさせていただきました。

誠に残念ではありますが本年の諏訪社大祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から神事のみとなりました。八月二十七日、青木会長以下氏子代表の出席のもととりおこなわれました。



厳かに行われた神事

十二月六日に、新年を迎える準備作業が行われました。氏子代表の方二十名の参加を得て、風雪除け、滑り止め付きスロープ取り付け、境内の清掃を行いました。近年賽銭参拝者の増加が著しいとのこと。地域内に事業所を持つ会社からの従業員揃っての参拝も多くなっており、青木会長就任以来三倍を超える参拝者となっています。

今回設置したスロープが参拝者増にも貢献しているとの事。安心、安全に配慮し、快適な参拝をしていただきたいと思います。

山潟地区コミュニティ協議会 活動の紹介

山潟地区コミュニティ協議会

会長 豊嶋直美

日頃より、山潟地区コミュニティ協議会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、山潟地区コミュニティ協議会では、山潟地区の安心安全で心地よく住みやすい地域を目指し、様々な取り組みを行っています。

その中でも福祉関係の取り組みについてご紹介いたします。

健康福祉部会では、「やまがたお互いさま」支えあいのまちづくりとして日常で困りの方へのお手伝いをしています。

例えば、「庭先の草取り」「電球の取り換え」「玄関先の雪のけ」等ですが、連絡をいただくとボランティアの方々が出動し、活動の目的としてお手伝いに伺っています。

利用には事前に登録が必要です。地域包括支援センター山潟、または、民生委員にご相談下さい。

また、山潟中学校の生徒の皆さんからゴミステーションへ燃やすごみを出す取り組みも行っています。利用の方からは、ほんとうに助かった等感謝のお言葉もいただいております。なお、ボランティアさん募集中です！

毎年十一月には、山潟地区福祉協議会・山潟地区民生児童委員協議会と一緒に「歳末たすけあいお楽しみ会」を開催しています。昨年、今年とコロナで中止となりましたが、地域の高齢者の方々が楽しみにされている行事です。

他にも地域の福祉関連の事業者との勉強会や先日は民生児童委員と山潟

地区の自治会長との情報交換会を行いました。

山潟地区での福祉の取り組みが益々充実するよう、願っています。

最後に、年に二回から三回程、自治会連絡会を行っています。各自治会の代表から出席頂き、地域の課題等を話し合っています。

十二月十四日に行われた自治会連絡会では、山潟地区の市長陳情についての他に、亀田バイパスの開口部について新潟市から現状の説明がありました。

昭和四十八年にバイパスの開口部が利用され始めましたが、当時から状況が大きく変わっています。

説明では安全性(事故)・環境(騒音)・利便性(開口部)の観点から説明がありました。

開口部の降り口は現状のままですが、バイパスに入る開口部を閉鎖したいとの説明でした。地域の方々のご理解が必要との事から、二月頃に行う予定の自治会連絡会で山潟地区としての方向性を決めたいと考えています。

今後とも山潟地区コミュニティ協議会の活動に、ご理解、ご協力をお願い致します。



～ 相談窓口 ～

地域包括支援センター山潟

TEL 025-257-7090

受付時間：午前 9:00～午後 4:00

※土・日・祭日・12/31～1/3 を除く